

マネジメント ニュース

今月号のニュース

< 中小企業にこそ情報管理は必須アイテム >

1. 今なぜ情報の管理が必要なのか
2. 中小企業に必要な『情報管理』とは？

中小企業にこそ 情報管理は必須アイテム

1. 今、なぜ情報管理が必要なのか

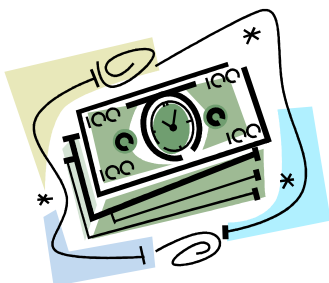
(1) 情報漏えいなどの事故が多発している

情報の漏えい件数及び賠償金額

現在、国内での情報関連の事故と言えば、企業情報・個人情報の漏えいが高い伸び率を示しています。

2006年度の情報漏えいなどの情報流出に関する報道は、200件以上となりました。これは、一昨年の2005年に比べ、約5倍以上に増加しています。

また、NPO日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）がまとめた「2005年度情報セキュリティインシデントに関する調査報告書」によると、情報の漏えいによる損害賠償額は以下のように想定されています。



該当項目	損害賠償金額
事故1件当たりの平均損害賠償額	7億円
2005年度の損害賠償総額	7001億7852万円

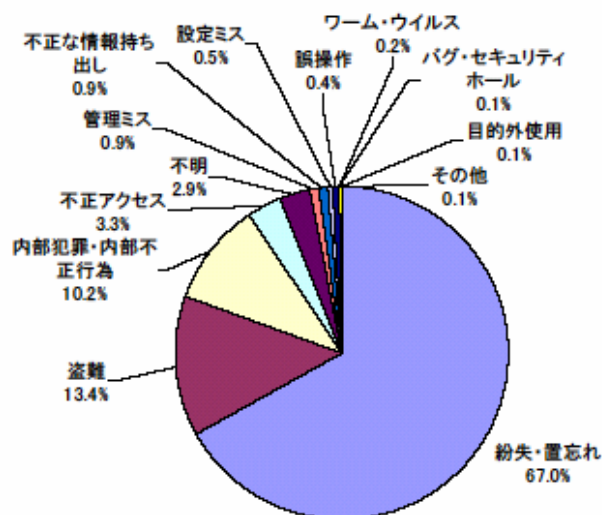
上記は、情報流出などの被害者が、全て賠償請求した場合の予想です。

今回の場合は、あくまでも試算上の金額ですが、実際に企業が情報を漏えいする可能性が有るため、決して見逃すことの出来ない危険性があります。

情報の漏えい原因

一昨年の「個人情報保護法」施行から、2年近く経とうとしていますが、情報の漏えい事件は一向に収まる気配がありません。むしろ前項で述べたとおり、増加の一途を辿っています。

では、その情報の『漏えい原因』はどのようなものが多いのでしょうか。



出展：JNSA

上記グラフからも分かるとおり、大半が「紛失・置忘れ」など“人による原因”となっています。

(2) 大企業が取り組めば、当然中小企業への影響も必至です！

今、大手企業のほとんどで、上記のような漏えいを起こさない為に、様々な情報管理の対策を行っています。その結果、取引先である中小・零細企業にも自社と同等の情報管理を要求してくることが明らかです。

今や、メーカーや大手企業だけで完結する業務はありません。必ず“協力会社”や“外注業者”などの取引先があります。そのほとんどが

中小・零細企業のため、当然何らかの対策が必要となります。

大手企業の対策として考えられる内容の一部をご紹介します。これを参考に、中小企業対策を検討したいと思います。

大手企業の対策

企業情報や、個人情報を守る仕組みを構築
ISO27001 やプライバシーマークを導入し、情報を漏らさない仕組みを構築する

パソコンやサーバーのセキュリティを強化
社内のコンピュータ機器について、ハードやソフト面での保護対策を強化する

外部との取引は、安心できる企業を選ぶ
企業として「安全対策が出来ているか」や、社員教育などが十分行われているかが基準

2. 中小企業に必要な『情報管理』とは

(1)「情報の管理」が企業を守る

一口に「情報管理」と言っても、様々な管理内容があります。前項でも述べたように、中小企業といえども、情報の管理に無神経であれば、自社への悪影響が拡大することになります。

今や中小企業の“経営課題”ともなっている『セキュリティ対策』が必要です。

(2) 中小企業の“情報漏えい”対策

企業の守るべき情報といえば、まずパソコンなどのコンピュータに保管されている情報が一般的だと思われます。その他、業務に関連する書類の管理や、社員の教育が考えられます。

しかしながら、中小企業としての問題点は、ITやセキュリティに関する知識のある社員などの『人材不足』です。

中小企業庁が発表している「IT利活用に関する実態調査」では、以下のような結果が出ています。

【IT導入における問題点】

問題点	%
対応する人材不足	36.5%
情報セキュリティ対策	32.8%
IT投資に見合う効果が見えない	30.7%

中小企業であれば、限られた人材の活用がカ

ギとなります。

(3) 人材以外のセキュリティ対策

現在では、自社のコンピュータなどを簡単に外部の危険から守る「セキュリティ機器」も豊富になりました。指紋認証などの『生体認証機器』がその代表例です。

【指紋認証機器の例】



その他、セキュリティに関するシステム構築を外部へ委託したり、ISOやプライバシーマークの取得と同時にシステムの構築を依頼したりと、上手く専門コンサルタントを活用できる例が増えています。

中小企業の場合は、一社だけで悩んでいるのではなく、地域のネットワークを活かした『問題解決法』が必要です。

内部監査員養成講座開催のお知らせ

ISO9001 2月21日(水)、22日(木)

詳細は当社までお問い合わせ下さい。

株式会社マネジメントセンター

セミナー受付窓口(担当:大槻)

TEL029-246-4671

FAX029-246-4672

e-mail office2@isommc.com

(株)マネジメントセンターへの、
ご意見、ご質問をFAX又はメールで
お寄せ下さい!

FAX: 029-246-4672

Mail: info@isommc.com